

命を守る  
ために

# 避難の注意点

記録的な台風が近づいてくるとき

## 積極的に情報を入手

災害時には様々な情報が発信されます。積極的に情報を入手し避難のきっかけをつかみましょう。



## 浸水より高い場所へ

同じ建物でも上層階など、浸水から安全に身を守れる場所へ避難しましょう。



## 原則歩いて避難

やむをえず車での避難が必要な方は、高齢者等避難など、より早い段階で避難を開始してください。



## 浸水した道路は通らない

水が濁って、足元が見えにくくなります。マンホールや排水溝などに転落して危険です。



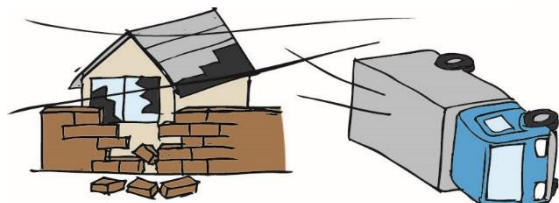
## 低い道路は通らない

高架下のアンダーパスなど、周囲より低く冠水しやすい道路の通行は避けましょう。



## 強風の中での運転や避難は危険

風の強さは避難行動に影響します。台風等で猛烈な風が吹いているときには、走行中のトラックが横転したりブロック塀や住家が倒壊を始めるおそれもあります。



## 自宅にとどまるなら十分な準備を

浸水や孤立した場合には、水道や電気、ガスなどが使えなくなるおそれがあります。自宅にとどまることが可能で、自宅にとどまる場合には、飲料水や食料などの準備が必要です。

